

7-2 岐阜県東部の活断層周辺における地殻活動観測結果(2017年5月～2017年10月) Observation of Tectonic Activities around the Active Faults in Eastern Gifu Region (May, 2017～October, 2017)

産業技術総合研究所
Geological Survey of Japan, AIST

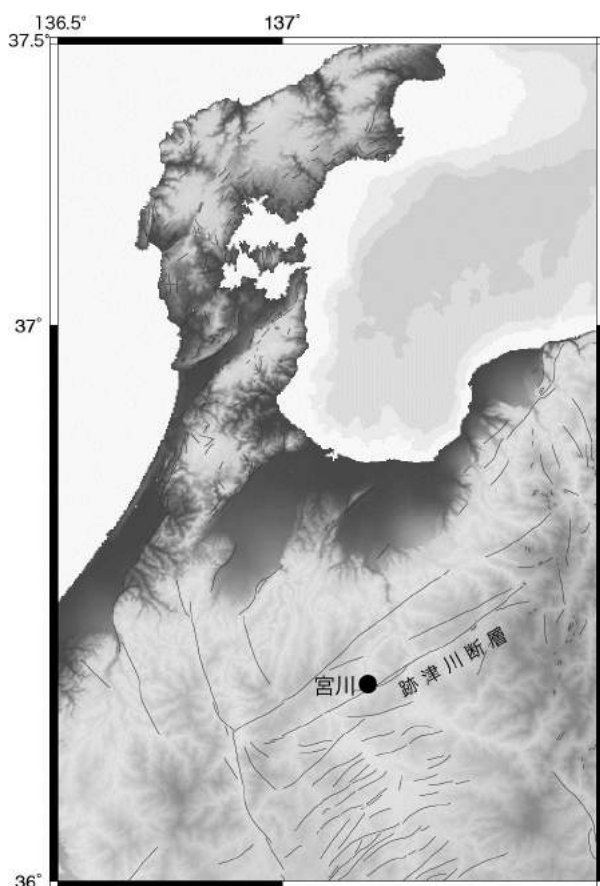
1. 観測概要

産業技術総合研究所は跡津川断層沿いの宮川において地殻活動総合観測設備を設置している(第1図)。宮川は深度約300mの坑井を掘削し、坑底に3成分ひずみ計・高感度地震計(1 Hz, 3成分速度計)を設置。深度256.78～267.66mの滞水層での水位及び体積温度計の計測も行なっている。

2. 観測結果概要

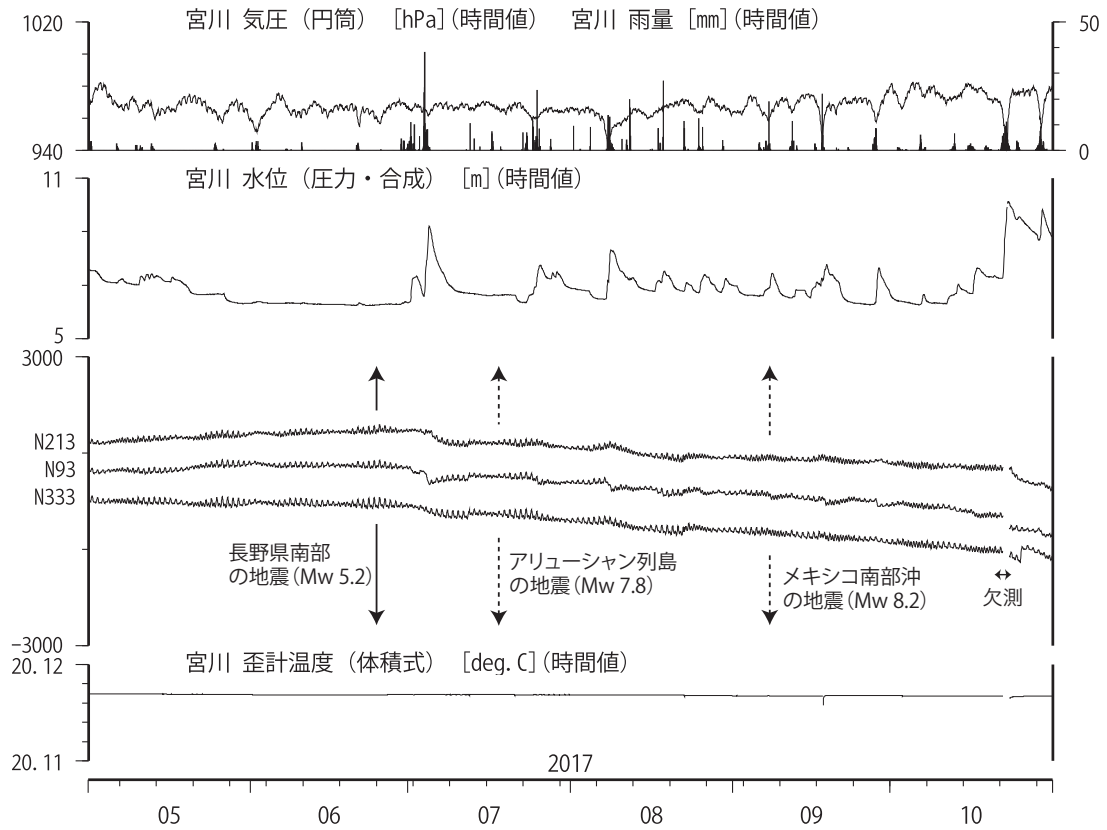
宮川(第2図, 第3図) : 水位, 歪計は潮汐変化を書く。降雨の影響が大きい。2017年6月25日長野県南部の地震 Mw5.2時に歪計2成分で6～7E-9程度の歪ステップと地震後30分で約3mmの水位低下が観測された。7月18日アリューシャン列島の地震 Mw7.8及び9月8日メキシコ南部沖の地震 Mw8.2時では歪計のステップ及び水位の変化は見られない。

(木口努・今西和俊・松本則夫)

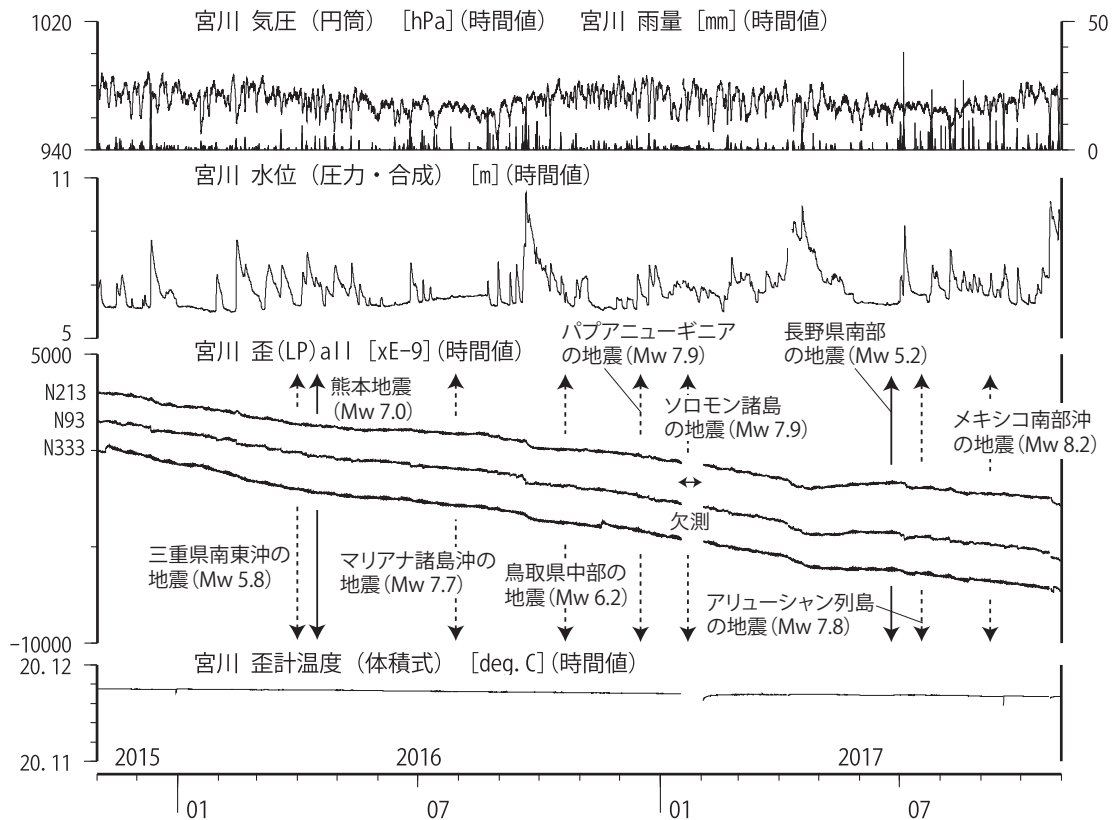


第1図 跡津川断層沿いの宮川・跡津川における地殻活動総合観測点位置

Fig.1 Location map of the observation boreholes at Miyagawa and Atotsugawa along the Atotsugawa fault.



第2図 宮川における歪観測結果 (6ヶ月間)
 Fig. 2 Results of strain meters at Miyagawa (for 6 months).



第3図 宮川における歪観測結果(2年間)
 Fig. 3 Results of strain meters at Miyagawa (for 2 years).